

第196回中国理解講座

王陽明の描いた

理想社会

王陽明（1472-1528）の創始した「陽明学」は、人間の心を世界生成の主体とし、一人一人の生活によって、倫理的な社会を下から作りあげていこうとした。これに対し、そうした人間を萎縮させ、社会を衰退させてしまう要素を、「功利」と名づけた陽明は、社会的地位、金銭的利益、学問的博識を幸福の尺度とする「功利」を追求した結果、人々がみずからを見失って本当にしたいことが分からなくなり、人々と争って孤立してしまうことに警鐘をならした。

陽明の理想とする倫理的な社会とは、どのようなものだったのか。それをつくるために一人一人にできることは何なのか。日本人の人生観にも強い影響を及ぼした陽明学のエッセンスについて、資料と共に探っていきながら、現代のヒントとなる生き方を探っていきたい。

5/25 土

14:00-15:30

立命館孔子学院講義室
+オンラインライブ配信

参加無料（要事前申込）

講師

大場 一央 氏

（早稲田大学非常勤講師）

1979年、北海道札幌市生まれ。

2002年、早稲田大学教育学部教育学科教育学専修卒業。

2009年、早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学専攻博士後期課程中途退学。

2010年、博士（文学・早稲田大学）。

2010年より、早稲田大学、明治大学、国士館大学等で非常勤講師。

研究分野は中国思想、日本思想。主に陽明学、水戸学を研究する。

著書に『心即理—王陽明前期思想の研究』（汲古書院）、『武器としての「中国思想」』（東洋経済新報社）等。

お問い合わせ 立命館孔子学院

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学 アカデミア立命 21 内 3階

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429

MAIL : kozo@st.ritsume.ac.jp HP : <https://www.ritsume.ac.jp/confucius/>

